

市民負担増、サービスの切り捨ては許さない

行財政改革の名の下で、敬老乗車証の改悪や学童保育利用料の値上げ、市バス・地下鉄などの運賃値上げなど、負担増とサービスの切り捨てが行われています。北陸新幹線の延伸などの大型公共事業を中止し、福祉を守るべきです。



市会議員 ひらい よしひと

平井良人



議会報告

市長総括
質疑

市バス・地下鉄の 運賃値上げはやめるべき



市長総括質疑では、「運賃値上げを回避するように国や京都市が補填をして、事業継続のために手を尽くすべき」と求めました。副市長は「国への要望は

同じ考え」と述べましたが、一番経営状況が厳しい交通局に対して、京都市からの新たな支援は行わないと、運賃値上げが前提の答弁に終始しました。

市長総括
質疑

水道の民営化・広域化ストップへ

上下
水道局

上下水道局では、今後5年間で、約100億円も一般会計からの出資金を休止しようとしているが、安定した資金供給ができるようにすべきと求めました。また、国が財政支出を減らすために行っている民間委託が低賃金労働を生み出していること、水道の広域化にはメリットがなく、それぞれの事情に合わせた国の支援を行うことを求めました。

決算
委員会

コロナで影響を受けた すべての方々への支援を

経営が厳しい事業者の実態、二極化している事業者への支援については、制度改善なども含め、コロナで影響を受けたすべての事業者を守る立場で予算を組むべきと求めました。また、学生の状況も厳しいことから実態調査を行った上で、必要とされている生活支援を求めました。

産業
観光局

調査活動

中央卸売市場の 事業者実態調査へ

中央卸売市場第一市場では、鮮魚を扱っている事業者から緊急事態宣言で売上が減少し、暮らしていけない実態が示されました。



交通局へ コロナ感染防止対策 強化を申し入れ

コロナ感染が拡大していた交通局へ、状況を聞きつつ、職員への定期的なPCR検査の実施などを申し入れました。



平井良人
(共産党 中)